

## 阿蘇で行われている環境教育・農業教育・ボランティア活動・情報発信などの事例

	分類	活動内容	関係機関・団体	実施時期	
1	自然体験	阿蘇郡内での水に関するフィールドワーク。	NPO阿蘇環境計画	2003	
2	(主に地域 外住民対 象)	野焼き支援ボランティアとの交流としてワラビ採りなどを実施。	木落牧野組合	2002	
3		防火帯づくりと観光振興を目的に、野焼きに参加したボランティアに、南小国の瀬の本高原で乗馬を楽しんでもらう。	阿蘇道産子クラブ	2001～	
4		古御池火口群トレッキング・産山牧場体験バスツアーなど、地元の人々と交流しながら阿蘇の自然や歴史文化にふれてもらう「阿蘇くじゅう国立公園 阿蘇カルデラツーリズム」を掲げ、ゆっくり歩く・自転車で走る「スローな阿蘇づくり」などとセットでモデルツアーを実施。	(財)阿蘇地域振興デザインセンター	2002～	
5		国立阿蘇青年の家で大阿蘇だけでキャンプを開催。	NPO 法人コミネット協会	2003	
6		波野村(やすらぎ交流館など)で波野アドベンチャーキャンプを開催。	なみの高原やすらぎ交流館	2003	
7		「阿蘇くじゅうエコツアー」_世界一のカルデラ火山とうっそうとした森を体感できるエコツアー(5月～6月、9月～11月)	日本旅行		
8		「2002大人の自然学校 秋のエコツアー「阿蘇カルデラ トレッキング・キャンプ」」_専門ガイドが案内するトレッキング・山登り・自然観察・星空観察・野外炊飯他。	九州山の自然学校「おぐに自然学校」事務局	2002	
9		「世界の阿蘇を訪ねるエコツアー」他	国際環境都市会議(かもと2002)「市民環境会議」実行委員会	2002	
10		子供たちを対象とした、波野村遊雀「もくもくヴィレッジそらのいえ」での高原のトレッキング、ツリーハウスづくり、国立阿蘇青年の家(阿蘇郡一の宮町)での草どまりづくり、星空観察会、登山など。定員は20～50名程度。	野外教育研究所 IOE	2003	
11		農業・生活文化体験	体験型農家民泊	農家れすとらん 田子山	
12	(主に地域 外住民対 象)	大量の修学旅行生を受け入れ、農家に宿泊し、牛の飼育、田植えなどを体験するファームステイを実施。1泊はホテルに宿泊、農家民宿はグリーンストックが仲介。	阿蘇グリーンストック財団など	1999～	
13		牛舎のベッドメイク、牛のブラッシング・シャンプー・草刈り・エサやり、昼食(マザーズキッチン)ちしほり体験、ウイナーづくり体験。	らくのうマザーズ阿蘇ミルク牧場	2003	
14		百姓村では就農前の研修制度として、1年間を目途とした、尋常農業小学校本科生コース(研修生制度)を開講。阿蘇に住み込み農業を学ぶ。	阿蘇百姓村	通年	
15		「阿蘇そばフェスタinくぎの」_そばの刈り取りと石臼挽きが一緒にできる体験(要予約、先着50名)やそば切り大会、そばクイズなど。	久木野村の「久木野新そばまつり」、阿蘇そばの里づくり推進協議会	2002	
16		冬の行事として「うさぎ追い」を実施。	小国九州ツーリズム大学	毎年冬	
17		「環境ボランティア育成講座」_阿蘇の環境のシンボルである草原を維持するための野焼き等のボランティア活動をととして、地域の環境保全に資する人材の育成を図る。	国立阿蘇青年の家	2004	
18		体験を通じた地域資源の再認識	阿蘇の良さに気づき阿蘇の地域づくりを担う人達の人材育成の場、あるいは阿蘇における地域情報の共有の場として「阿蘇人塾(あそびとじゅく)」を開設。	(財)阿蘇地域振興デザインセンター	
19		(主に地域 住民対象)	「谷人ツーリズム」として、毎月1回「阿蘇をさぐる」と題した登山、歴史や自然体験などのフィールドワーク会と、赤牛の世話、花卉、タバコ栽培の実践、また阿蘇の食材を使った農産物加工などのワークステイを開催。	阿蘇たにびと博物館	2003
20	独自の運営によって学びネット各施設を利用し、より楽しいイベントやワークショップ・自然、歴史、文化の探検隊などを企画。		阿蘇を学ぶ市民の会		
21	「阿蘇の自然に親しむ集い」_阿蘇北外輪の馬場川支流探検と周辺の野草観察や高森峠、清栄山を訪ねながら秋の野草観察など。		阿蘇地区パークボランティアの会 後援:環境省九州地区自然保護事務所	2003	

22		「みんなで作ろう！屋根のない博物館 ASO田園空間」__ ASO田園空間博物館研究会 地域委員、区長、町など約15名が毎月1回打ち合わせを行いながら、博物館全体の活動の調整・連絡会議および地域資源発掘を実施。 史跡散策ツアー(毎年2回) 町民40人が参加し、地域資源(参勤交代道、銘木等)を散策。 河川道路美化コンクール(毎年1回) 町内の河川及び道路沿線で開催。20団体が参加。	阿蘇町役場建設課	
23		阿蘇で遊んで学ぶ「阿蘇大学」が南小国で開校。参加者30人が筑後川の源流を探検、草原の役割について学ぶ。	阿蘇グリーンストック財団	1998
24		阿蘇の成り立ち、草原でのパラグライダー、溶岩洞窟や火口探検、草泊り(草のテント)づくり、など計4回開催。	子どもパークレンジャー九州地区事務局	
25	野焼き・輪地切り支援	草原懇話会「野焼き体験交流会」__環境庁の事務所が、草原への関心を高め長期的な保全対策を検討する草原懇話会の行事として、阿蘇町赤水原野で実施。有識者、一般参加者、牧野組合員など計270人が参加。	環境庁九州地区国立公園・野生生物事務所	1997
26		野焼きボランティアを募集、研修修了者を1999年3月から野焼き支援に派遣している。参加者は年々増え、2003年春は延べ446名のボランティアが6町村17カ所の野焼きに参加した。	阿蘇グリーンストック財団	1999～
27		野焼きボランティアによる輪地切り支援活動を開始。	阿蘇グリーンストック財団	2000～
28	森林保全活動	「サントリー「天然水の森」計画」__2003年夏に竣工予定の九州熊本工場の水源地である阿蘇外輪山の国有林約100haをサントリー「天然水の森」と名付けて、水源かん養機能の高い森林として整備する水資源保全活動。	サントリー	2003～
29	清掃活動等	河川のコホリ活動を実施。	NPO阿蘇環境計画	2003
30		協議会とボランティアによる河川のコホリや、小学生と敬老会との「水生生物観察会」を通じた環境交流会、阿蘇環境シンポジウムを開催するなど環境保全活動に積極的に取り組むほか、心無い人々の廃棄物不法投棄による環境汚染が問題となりつつあるため、防止対策を行う。	阿蘇地域内70機関・団体で構成する「不法投棄対策連絡協議会」、熊本県阿蘇地域振興局 衛生環境課(熊本県阿蘇保健所内)	
31		「阿蘇の草千里で美化清掃運動」__「全国自然公園クリーンデー」と題して、全国の自然公園(国立公園、国定公園、都道府県立自然公園)で、毎年8月の第一日曜日に開催。	環境省九州地区自然保護事務所	2003
32		オムロンデーにサイト周辺地域(仙酔峡)のごみ収集を開催。26名が参加。	オムロン阿蘇(株) 品質・環境部	
33	講習会等	「ジョイントカレッジ in ASO」__学生と社会教育指導者が共に学ぶ環境教育	国立阿蘇青年の家	2003
34		「プロジェクトワイルド(PW)講習会」__18歳以上を対象に、なみの高原やすらぎ交流館にて12,000円(テキスト、講習費、宿泊費、食費4食)でプロジェクトワイルドの講習会を開催	野外教育研究所 IOE	2003
35	普及啓発情報発信	ホームページによる情報発信等。	NPO阿蘇環境計画	2003
36		自治体の枠にとらわれず、地産地消とツーリズムをテーマに阿蘇の魅力を紹介するサイト「阿蘇ファン」開設運営。	阿蘇広域観光と地域づくり連絡協議会	2003
37		阿蘇ライブカメラの設置運営。	九州産業交通(株)阿蘇山観光事業所 / RKK熊本放送	
38		あか牛やあか牛文化に関する情報を動画をまじえながら紹介するサイト「あか牛TV」を開設。	熊本県畜産農業協同組合連合会	
39		熊本県阿蘇4町村(一の宮町・阿蘇町・産山村・波野村)を紹介し、阿蘇の大自然に触れてみたくなった方向けに、インターネットによる宿泊予約、阿蘇の大自然が育んだ農産物を中心とした商品購入が可能なショッピングモールを兼ね備えた「サイバーモール阿蘇」を開設運営。	財団法人 阿蘇町地域振興公社 (阿蘇テレワークセンター)	

(資料:新聞記事、インターネット検索ほかによる)